

(2) 抜山記念国際賞の授賞

抜山記念国際賞 2020 選考委員会にて公募した結果 7 カ国から 8 名の応募があり、委員会で選考の結果、下記の Ronggui Yang 氏を受章者に決定した。(別紙 Report to Board of Directors of HTSJ)参照

抜山記念国際賞 2020 選考委員会

圓山重直 (東北大、主査)、高田保之 (九大、副主査)、須賀一彦 (大阪府立大)
John Richard Thome (EPFL, Switzerland), John H. Lienhard V (MIT, USA),
Sung Jin Kim (KAIST, S. Korea), Zhuomin Zhang (Georgia Tech. USA)

選考過程

2019 年 9 月 1 日 推薦公募

2019 年 12 月 30 日 推薦締め切り

7 カ国 (Australia, China, France, India, Poland, UK, USA) から 8 名応募

2019 年 1 月 31 日 抜山賞 2020 委員会メンバーによる評価

2020 年 2 月 6 日 抜山賞 2020 委員会としての最終候補者の決定

2020 年 2 月 7 日 最終候補者に連絡、受賞者受諾確認

2020 年 4 月 25 日 理事会にて承認

受賞者

Dr. Ronggui Yang

Chair Professor of School of Energy and Power Engineering, Huanzhong
University of Science and Technology, China

受賞理由

受章者は、熱工学の分野、特にナノ・マイクロ伝熱工学で、引用数の多い多数の論文および著書の出版、特許出願などで顕著な業績を挙げており、多くの受賞によって評価されている。それらの業績の中でも、ハイブリッド材料によるふく射冷却面の開発は特に高く評価されている。

注記

受賞講演および授賞式は、2020 年 11 月 15~19 日に長崎で開催される the Asian Conference on Thermal Sciences 2020 で行われる予定。

→ [新型コロナウイルス禍のため1年延期となり2021年10月6日オンラインで行われた。](#)